

靴下を履いたまま眠りたくない方へ

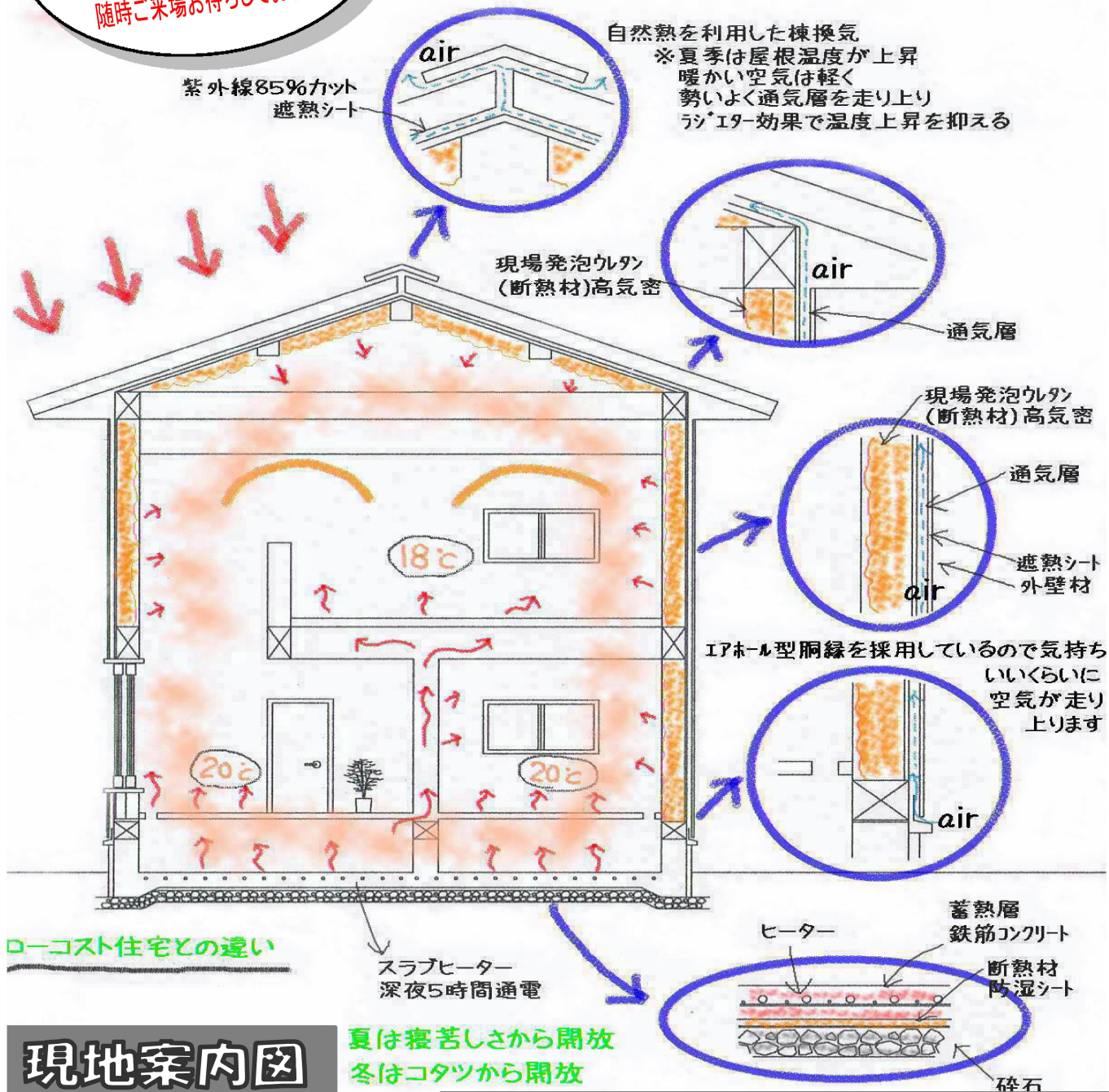
遠赤外線が布団も身体も暖めます だから靴下いらず

Vol. 7

「失敗しない家づくり」シリーズ

『暖かさ体感会』

12/8(土) 9日
10:00~16:00
随時ご来場お待ちしております。



ローコスト住宅との違い

現地案内図



夏は寝苦しさから開放
冬はコタツから開放

詳細・お問い合わせは 飯野まで
TEL 048-571-0654



Berry-Wood

株式会社鈴木工務所 住宅事業部

〒366-0822 埼玉県深谷市仲町8-19

Mail: berry-wood@suzukikoumusyo.co.jp

(株)鈴木工務所 住宅事業部

検索

笑顔あふれる
家づくり

お客様の声(深谷市 K様)

一年を通して春のような暖かさの中で過ごすのが夢だった私たちは、昨年の12月に参加した「暖かさ体感会」で実感した家の暖かさが忘れられず、鈴木工務所さんをお願いする事に決めました。

気流を感じないのに家中どこに居ても暖かく、寒い時期でも部屋着はポロシャツ1枚、寝る時は薄い毛布1枚で過ごせてしまいます。寒くて布団から出るのが億劫だった冬の朝も、今では食事の準備をするのが楽しみなほど。子供が靴下を脱いでしまったり、薄着でお絵かきしていても気になりません。検査に合格した木を使い構造計算もしているので、地震に強いという安心感もあります。自宅の隣でエステのお店を開いていますが、笑顔でお客様をお迎えできるのが嬉しいです。



ご検討中の方の声(深谷市 O様)

暖かさに違いがあるとは思っていなかった私は「暖かさ体感会」に参加した主人から「気持ち良かったよ」と言われても興味はあまり沸きませんでした。

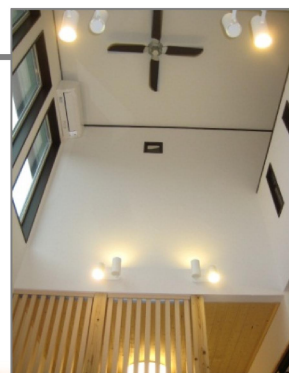
しかし10月の完成見学会で体感した輻射熱の暖かさは予想を超えていました。家全体が「ふわっ」とした柔らかい暖かさに包まれていて、乾燥感がありません。布団もふっくらして丸めるのが大変そうでした。私は靴下を履かないと眠れないのですが素足で寝られるのは嬉しいです。ローンの支払いに追われる生活は嫌だけど、忘れられないあの暖かさ。スラブヒーターを採用しても予算に合うプランの設計を依頼しています。



【快適・爽やか】

私たちの身体はご飯を食べて発熱する発熱体です。常に外部に熱を発散して体温を一定に保っています。周囲の温度が低いと人体からの放熱量が多くなり「寒く」感じます(=冬)。周囲の温度が高すぎると体内に熱がこもった状態となり「暑く」感じます(=夏)。適度に熱を放出している状態の時に「寒くも暑くもない」快適な感覚になります(=春・秋)。

周囲の個体温度 22℃
湿度 40%~60%
室温 20℃



【輻射熱(ふくしゃねつ)の暖かさ】

春3月、太陽の陽差しを浴びた時に感じる暖かさ、肩の力がす〜っと抜ける、あの自然な暖かさが輻射熱の特徴です。

空気を暖めるのではなく、遠赤外線の熱線で身体に熱を伝えるので柔らかな暖かさを感じます。



【5時間通電機器 割引(制度)】

深夜電力を利用した蓄熱式の暖房機器には年間割引制度があります。暖房機を使わない夏でも5時間通電機器の総容量に応じて毎月の電気代から割引されます。

(例) 19kwh(総容量) × 241.5円(割引額)
= 4,588.5円(毎月の割引額)

【ヒートショックとは】

温度が急激に変化した時、血管が収縮し血圧が急上昇したり、脈拍が早くなったりする現象です。それが心臓や脳の血管の大きな負担となり、心筋梗塞や脳卒中などの事故につながってしまう事があります。

入浴中の死亡者数 : 年間1万人以上
(交通事故でお亡くなりになられる方よりも多いんですね)
冬場のトイレや浴室、夜間や早朝は特に危険です。
全館暖房なら温度差を解消できます。